

令和5年度 椎葉村立松尾小学校 学校運営協議会評価書

<p>■ 学校経営ビジョン 「やさしい子ども かしい子ども たくましい子ども 笑顔いっぱい松尾小」</p> <p>1 学校生活（学習）を楽しむ・・・児童が笑顔になり、主体的・対話的で深い学びをしながら、たくましく生きていくための力を身に付けていく学校</p> <p>2 仕事を楽しむ・・・・・・教員が笑顔になり、切磋琢磨しながら「教師力」を向上させることができるチームとしての学校</p> <p>3 協力を楽しんでいただく・・・学校支援態勢が確立され、家庭や地域の方々、笑顔で惜しみなく児童の健全な育成に向け、協力してくださる安心・安全な学校</p>

■ 学校の教育目標 「心豊かでたくましく、確かな力を備えた児童の育成」

評価項目	評価指標	結果の考察・分析及び改善策等	自己 評定	学校 運営 協議 会 評 定	学校運営協議会評価コメント
確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の徹底 ○活用の育成 ○主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ○ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年においても単元テスト80%以上を達成することができた。 ・各教科等の指導においては、深い学びの視点に立った授業改善とその見取りに課題がある。 ・読書活動を推進し、毎学期一人あたり10冊以上の読書を達成できた。県立図書館より「やまびこ文庫」を届けていただき、児童も読むのを楽しみにしていた。 ・タブレットを使う学習スタイルが定着し、学力の向上に効果を上げている。また、村内の小学校とオンラインで授業を行うなどの教育活動も実施でき、ICTの活用が充実できた。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が単元テスト80%以上を達成していることを評価したい。本校は、児童数が少ないので、教師が一人一人の得意不得意を把握し、細かな指導ができています。その結果、児童の力が高まっているようだ。今後も個別指導を行いながら学力を高めてほしい。 ・読書活動の推進により、毎学期10冊以上の本を読むことができていますことは評価できる。文章力の向上にもつながるので、今後も一層の読書活動の推進をしてほしい。 ・タブレットを使う学習スタイルが定着していることは、素晴らしい。
豊かな心づくりと表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○相手を思いやる心の育成 ○相手に届く表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級SSTを月に1回実施することで、児童のコミュニケーション力は高まり、友達に対して好ましい接し方ができる児童が増えてきている。 ・「進んで、元気よく、笑顔であいさつ」をキャッチフレーズに、登下校時に地域の方々にも自信をもって挨拶できるようになってきている。 ・「4つのアウトプット」を意識させ、表現力の育成に努めた。松尾っ子発表会、新聞への作文掲載など、様々な場面で称賛され、自信をつけている。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつはよくできている。一方で、教師が一緒にいる時といない時、また、スポ少の試合で村外に出ているときなど、あいさつに差があるのを感じる。いつでも、どこでもあいさつができる児童を目指してほしい。学校だけでなく、地域もあいさつ運動に取り組む必要がある。 ・毎朝、松尾小の児童の作文が新聞に載っているか確かめるのを楽しみにしている。新聞に載っていた児童には、積極的に声をかけるようにしている。作文力と読書量は関係が深いと思うので、引き続き、読書活動にも力を入れてほしい。

たくましい体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎体力の向上 ○健康・安全意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・県体力テスト目標達成率80%以上を達成できた。運動能力がかなり高く、今後も体力向上の取組を継続しながら、さらに目標達成率を高めていく。 ・年3回(学期1回)性教育に係る授業を行い、養護教諭もT2として授業に参加した。また、性教育に係る年間計画の見直しも行った。 ・「健康がんばり週間」を年5回実施した。その際、児童に年間目標を立てさせ、家庭で親子一緒に取り組めるようにした。 ・弁当の日を11月の遠足の時に実施した。ワークシートを使って事前に児童の興味をもたせ、実施後には写真とともにワークシートを掲示し、取組の振り返りができるようにした。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストA判定児童が多いが、スポ少での活動の様子を見ていると、運動能力が特別高いとは感じなかった。しかし、他校で体力テストA判定が少ないとの話を聞いた時に、本校の児童の運動能力の高さを実感した。今後も運動能力を高める取組を継続し、たくましい児童に育ててほしい。 ・「健康がんばり週間」のように家庭との連携を図って、生活のリズムなどを整える取組は大切である。週末にスポ少などの試合があった後の週明けは子どもたちも疲れがちなので、家庭との連携を図り、家庭でゲームの時間を決める、早寝早起きをするなどの取組の継続をお願いしたい。
特色ある教育実践	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統継承、地域交流の推進 ○地域への発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾ならではの学習活動を計画的に実施できた。スキー遠足こそできなかったものの、地域の方々に講師になっていただいたり、学習活動に参加していただいたりするなかで、交流学习を充実させることができた。 ・各学年、年間2回の集合学習やオンラインでの授業・行事により、椎葉村内外の学校との交流活動を充実させることができた。 ・児童の学校生活や行事などについて、新聞への投稿やWebページの定期的な更新により情報発信できた。 ・月1回学校便りを作成し、地域の方々に学校の教育活動についての情報発信を行った。また、松尾っ子発表会前には、やまびこ通信を活用し、開催のお知らせを行い、地域の方々にも観覧していただくことができた。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や保護者が学校の教育活動に積極的に参加していることは素晴らしい。特に松尾地区のよさを生かした取組は、これからも大切にしていきたい。 ・「松尾の子どもは、松尾で育てる」を合い言葉に、地域と一丸となって取り組んでいってほしい。

(4段階評価)	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
---------	--------	-----------	------------	----------